

肝嚢胞破裂の治療法に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

肝嚢胞という病気は、症状がなければ特に治療を急ぐものではありませんが、たまに巨大化や多発発生することがあり、腹部圧迫感などの症状を呈することがあります。しかしまれに破裂を起こすことがあり、迅速な治療の介入が必要となることがあります。保存的な経過観察ができる場合もありますが、腹膜刺激症状が強かったりショックの場合は手術が必要となったり治療方針が変更となります。まれな病態であり治療対象数も十分でないため、過去の治療経過とその結果を収集し、可能であれば条件に応じた治療法の標準化を図りたいと考えます。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2014年1月～2024年5月に肝嚢胞破裂で当院を受診され治療を受けた方

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、在院日数、手術の有無、あれば術式、合併症、転帰など
使用開始予定日：2024年6月5日

研究予定期間

2024年6月5日～2024年9月28日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 救急科 林田和之
[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 救急科 林田和之

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)